

科目名	公共	学年	1 年生	使用教材	教科書	『高等学校 公共』（教育図書）
		単位数	2 単位（必修）		副教材	なし
学習の目標						
法・政治・経済についての基本的知識を身につけるとともに、討論やSDGsをテーマとした体験活動を取り入れて、課題の解決のために主体的に考え判断する能力、対話による合意形成をめざす能力を培う。						
学習の概要						
法・政治・経済などの社会のシステムについての基本的知識を身につけて、グループワーク、研究発表などの現代の諸課題を追及したり解決したり活動を行う。						
学期	学習内容			学習のねらい		学習方法
1 学期	4 月	第 1 章 公共の扉		・公共的な空間と人間の関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性などについて学び、社会に参画する自立した主体について理解する。		・講義 ・研究発表 ・グループワーク
		1. 公共と人				
	5 月	2. 公共と倫理				
	6 月	3. 公共の基本原則				
	7 月					
2 学期	9 月	第 2 章 現代社会の諸課題		・法や民主政治における諸機関の目的や課題について学ぶ。 ・SDGsをテーマとして、廃棄物の再利用について考え、商品を開発し、主体的に社会に関わる態度を養う。 ・経済分野の基本的事項について学び、雇用や格差、少子化や社会保障などの諸課題について主体的に考える。		・講義 ・調べ学習 ・レポート作成 ・商品開発
		1. 法				
	10 月	第 3 章 持続可能な社会へ「SDGsをテーマとする社会研究」				
	11 月	第 2 章 現代社会の諸課題				
		2. 政治				
		3. 経済				
3 学期	1 月	第 2 章 現代社会の諸課題		・NAGAZON, Inc. の 1 年間の事業を題材として、「良い企業」について考える。 ・メディア社会に関わる主体として、インターネット空間の公共性を理解し、メディアリテラシーの大切さを自覚する。		・講義 ・討論、対話 ・グループワーク
		3. 経済（続き）				
		4. 情報				
観点別評価基準および評価方法						
知識・技能			思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
現代社会の諸課題についての基本的知識を身につけるとともに、思考・判断の手掛かりとなる考え方や原理を理解する。			公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成を視野に入れながら構想したことを議論する力、自分の考えを論理的に表現する力を培う。		様々な社会問題を身近な話題に引き付けて考える社会参画者としての主体的態度を身に付け、協働・対話の大切さについての自覚を深める。	
・定期考査 ・小テスト			・ループリック評価 ・研究発表 ・討論、対話		・ループリック評価 ・商品開発 ・グループワーク	
観点別評価の割合 知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学習に取り組む態度 ＝ 4 ： 3 ： 3						
担当者からのメッセージ						
大人になってからも必要な知識ばかりです。様々な活動も取り入れていますので、一緒にがんばりましょう。						

科目名	地理総合	学年	2 年生	使用教材	教科書	『高等学校 新地理総合』 (帝国書院)
		単位数	2 単位 (必修)		副教材	『新詳高等地図』(帝国書院)
学習の目標						
地図の読解・活用の能力を身に着け、地理的な見方・考え方の基本を知るため、気候・民族・宗教・地形などを学ぶ。地理的な見方・考え方に根ざして国際的課題を追究し、解決について考えることによって、国際理解と平和などについて前向きに考え、行動する資質・能力を培う。						
学習の概要						
地図の読解・活用の能力、生活・文化の多様性についての基本的知識、グループワーク、研究発表など地球的課題を追及したり解決したり活動を行う。						
学期	学習内容		学習のねらい		学習方法	
1 学期	4 月 第 1 部 第 1 章 地図と地理情報システム 5 月 第 2 章 地図の役割と種類 6 月 第 2 部 第 2 章 地球的課題と国際協力 7 月 第 3 部 第 2 章 生活圏の調査と地域の展望		・地図の読解・活用の能力を培うとともに、国家やグローバル化する国際社会について理解する。 ・現在起きている地球的課題とSDGsを関連づけて学ぶ。 ・世界で起きている紛争について知り、平和や国際協力について考える。		・講義 ・グループワーク ・探究学習	
2 学期	9 月 第 2 部 第 1 章 生活文化の多様性と国際理解 10 月 探究学習 持続可能な社会づくりにむけて 11 月 12 月		・世界の多様な生活・文化について知り、共生を前提とした国際理解について考える。 ・SDGsを手掛かりとして、地球的課題の解決方法について自分の身に寄せて考え、主体的に社会に関わる態度を養う。		・講義 ・グループワーク ・探究学習 ・レポート作成	
3 学期	1 月 第 3 部 第 1 章 自然環境と防災		・自分の住む地域をもとに自然災害と防災についての基礎的知識を学ぶ。		・講義 ・グループワーク ・探究学習 ・レポート作成	
観点別評価規準および評価方法						
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
地図の読解・活用の能力、生活文化の多様性や地球的課題などを理解し、地図などを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。		地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察し、説明し、表現する力を養う。		地理に関わる諸事象について、主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して他者理解の大切さについて理解を深める。		
・定期考査		・定期考査 ・探究学習 ・レポート作成		・グループワーク ・提出物		
観点別評価の割合 知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学習に取り組む態度 ＝ 4 ： 3 ： 3						
担当者からのメッセージ						
大人になってからも必要な知識ばかりです。様々な活動も取り入れていますので、一緒にがんばりましょう。						

科目名	歴史総合	学年	3 年生	使用教材	教科書	『新選 歴史総合』（東京書籍）
		単位数	2 単位（必修）		副教材	
学習の目標						
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。						
学習の概要						
資料読解・活用能力、近現代の歴史的事象についての基本的知識を習得し、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、グループワークや調べ学習を通して、多面的・多角的に考察しまとめる。						
学期	学習内容		学習のねらい		学習方法	
1 学期	4 月	第 1 章 歴史の扉 1 節 歴史と私たち 2 節 歴史の特質と資料	- 資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解し、生活や身近な地域などに見られる諸事象が、日本や世界の歴史とつながっていることを捉える。 18～19 世紀の世界の事象を捉え、現代社会へとつながる民主主義・立憲主義、資本主義等の成立を日本国家の成立や世界情勢の変化とともに理解する。		- 講義 - グループワーク - 調べ学習	
	5 月 6 月 7 月	第 2 章 近代化と私たち				
2 学期	9 月	第 3 章 国際秩序の変化や大衆化への問い	- 二つの大戦の原因と結果、日本と世界の変化を捉え、国際協調の歩みとその課題について理解する。 - 現代社会の政治及び経済体制の確立を歴史的に理解する。		- 講義 - グループワーク - 調べ学習 - レポート作成	
	10 月 11 月 12 月	第 4 章 グローバル化と私たち（1・2 節）				
3 学期	1 月 2 月	第 4 章（3・4 節）	地域紛争等現代の課題について学習し、SDGs の観点から自分達に引き寄せてその課題と解決について考察しまとめる。		- 講義 - グループワーク - レポート作成 - 研究発表	
観点別評価規準および評価方法						
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 ○諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。		○近現代の歴史の変化に関わる事象の意義、特色などを、多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。		○近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。		
・定期考査 ・小テスト		・定期考査 ・調べ学習 ・グループワーク ・レポート作成		・グループワーク ・提出物		
観点別評価の割合 知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学習に取り組む態度 ＝ 4 ： 3 ： 3						
担当者からのメッセージ						
大人になってからも必要な知識ばかりです。様々な活動もあるので、一緒にがんばりましょう。						

科目名	政治・経済	学年	4 年生	使用教材	教科書	『最新 政治・経済』（実教出版）
		単位数	2 単位（必修）		副教材	なし
学習の目標						
現在の日本・国際社会の政治・経済について知識を得て、社会課題の解決について主体的に考える態度を培う。						
学習の概要						
日本の政治・経済、国際政治・国際経済の4分野について学ぶ。また、グループワーク、研究発表などの現代の諸課題についての探究学習を行う。						
学期	学習内容		学習のねらい		学習方法	
1 学期	4 月 現代日本の政治 5 月 6 月 現代日本の経済 7 月		- 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障、地方自治について現代社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 - 経済活動と市場、経済循環、景気変動、財政、金融などについて多面的・多角的に考察する。		- 講義 - レポート作成	
2 学期	9 月 現代日本における諸課題の探究 10 月 現代の国際政治 11 月 現代の国際経済		- 社会保障の充実安定化、地域社会の自立と政府、財政健全化などについて考察し、自分の考えを説明する。 - 国際社会の変遷、国際法の意義、国際機構、安全保障について理解を深める。 - 国際経済機関の役割、貿易の現状と意義、為替相場について、現実社会の諸事象を通して理解する。		- 講義 - 探究学習	
3 学期	1 月 国際社会における諸課題の探究		グローバル化による変容、地球環境と資源・エネルギー問題、地域紛争などについて、SDGs と関連付けて考察する。		- 講義 - 探究学習	
観点別評価規準および評価方法						
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。		国家及び社会の形成者として必要な考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明する。また、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。		よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。また、国民主権を担う公民として、その平和と繁栄を図り、国家及び社会の形成により積極的な役割を果たそうとする自覚を深めさせる。		
- 定期考査 - 小テスト		- ループリック評価 - 研究発表 - 討論、対話 - 調べ学習 - レポート作成		- ループリック評価 - 商品開発 - グループワーク		
観点別評価の割合 知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学習に取り組む態度 ＝ 4 ： 3 ： 3						
担当者からのメッセージ						
大人になってからも必要な知識ばかりです。一緒にがんばりましょう。						